



第21回福祉講演会特集 平成29年3月11日(土)開催 於：鴨居中央会館
テーマ「災害が起きたときどうしますか？」
講師 横浜市社会福祉協議会 船水 達也様

鴨居地区福祉講演会に参加して

横浜市社会福祉協議会

市民活動支援課 船水 達也

今回、緑区社協からご相談いただいたご縁で、福祉講演会に関わらせていただきました。「講演会」と名がついていながら体験型の内容でしたが、鴨居地区のみなさんに温かく受け入れていただき、感謝しております。

「クロスロードゲーム」は初めてという方がほとんどでしたが、いかがでしたか？クロスロードの良い点として「全員何かしらの発言ができる」ということが挙げられます。まさにグループでの意見交換では、みなさんがご自分の意見を述べ、活発に意見交換がされていました。

その中で、自分以外の意見を聞くことで新たな視点に気づいた方も多いと思います。災害時は状況が刻々と変わります。その中で最善と思われる判断をするためには、日頃から「想定」を重ねることが大切ではないでしょうか。想定を重ね、足りないことや必要なことに対応し、視点の数を増やすこと。それがいざという時にきっと役立ちます。

また、今回のように気軽にご家族やご友人と話をしてみることも、小さいけれど確実な一歩ではないかと思えます。

この講演会に多くの方が集まり、話ができただことは、とても意味のあることだと感じました。この経験が、みなさんの今後に少しでもお役に立てれば幸いです。併せて、この講演会を運営していただいた皆様にも、お礼申し上げます。ありがとうございました。



フォロー役をしてみ

鴨居地域ケアプラザ 伊藤 直美

3月11日に開催されました「第21回鴨居地区福祉講演会」に、私は1グループのフォロー役として参加しました。この日の内容は、災害対応カードゲーム「クロスロード」。カードに書かれている問題を自らのことと考え「YES」か「NO」で答えていくカードゲームです。このゲームに正解はありません。

1問目。絶対多数派意見だと思って出したカードがまさかの少数派だったとは…。少し動揺しながらも、フォロー役としてグル



ープ回答を決めるためにまずは多数派の皆さんの意見を聞きました。「そういう考え方もあるのか」などと思いながら少数派の意見も聞きました。どの意見も間違いではありません。その人の性別や年齢、今までの経験などで考え方や判断が違ってくるだけです。これが本当の災害現場だったらどうでしょう。迅速に判断しなければいけないのに意見が分かれてしまったら。私達1グループでも回答がすぐには決まりませんでした。私はこのゲームを通じて、互いの意見を認め合うことの重要性を再認識しました。そして災害が起きた時、その時その時の最善の判断ができるよう、日頃からみんなで考えていくことが大切であると感じました。最後になりますが、このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



フォロー役も含めて
意見交換
→「そういう考え方もあるなあ」



鴨居地区福祉講演会に参加して

主任児童委員 横田 豊美

3月11日、「災害が起きたときどうしますか？」というテーマで「クロスロードゲーム」をしてきました。

今回初めて知ったのですが、クロスロードゲームとはある災害の場面を事例にあげ、その時の自分の行動を二者択一した後、グループ内でそれぞれの選択の理由を話し合い、答えを決めていくというものでした。

当日は東日本大震災の日でもあったため幾つかの事例を考える際にリアルに想像ができ、真剣に考えることができました。自分とは違った答えを選択した人の意見を聞くと、なるほどと思いき考えを改めることもありました。また、頭で考えたらこちらの選択が正しいだろうなと思いつつ、実際の災害時には感情的になり正しい判断もできなくなることも容易に想像できました。

漠然と防災を考えるだけでなく、具体的な事例を与えられるだけでこんなにもいろいろと考えられるんだと、改めて思い多くの方に体験してもらいたいと思いました。



鴨居地区福祉講演会に参加して

四丁目 萩森 啓子

回覧板を見ていて、主人が「行ってみようかな」と言ったことから、講演会に参加することにしました。

3月11日、奇しくも大震災の起こった日です。今回はクロスロードゲームという手法で、示された問題に対して各自が Yes/No で答え、それについて各グループで話し合うという、親しみやすいものでした。

例を挙げると、「夫の介護をしている妻が答える。激しい雷雨で夜半に目覚めテレビをつけると、この地区が『大雨特別警報、重大な危険が迫った異常事態』と知らせている。」という設定で、

- ・夫と今すぐ避難する→Yes
- ・自宅に留まる→No

というものがありません。

(右上に続く)

各グループともNoが多かったのですが、出席者の中に、豪雨で水位がみるみる上昇する経験をした方があり、一概には言えないと考えさせられました。災害について考えてみる良い機会をいただき、また社協を身近に知ることができました。

ありがとうございました。

福祉講演会に参加して

五丁目 藤井 仁子

「災害が起きたときどうしますか？」をテーマに、カードゲーム教材を使い「クロスロードゲーム」を行いました。どちらの答えを選択するか?! 災害時における様々な問題を考えていくのですが、問題が具体化されていてイメージしやすくとても解り易かったです。

グループ内には、環境・年齢・家族構成などいろんな立場の方がいらっしゃいました。どちらの答えを選んでも、お一人お一人それぞれの事情があり、自分が気づかなかったことなど、たくさんのお話を聞くことができ、とても参考になりました。

出席者全員が参加し、ゲームを通して Yes/No と意見交換をしながら、とても楽しく学ぶことができました。

ありがとうございました。

表彰報告

社会福祉功労者表彰（緑区社会福祉大会にて）

手作りを楽しむ会（おやつ会）：石関 早苗さん

長きにわたり、ありがとうございます！
これからもよろしくお願いします！

～お知らせ～

11月5日（日）：第17回鴨居地区福祉まつり

～編集後記～

春らしい陽気が多くなってきましたが、まだまだ肌寒い日も多く、体調には気を遣う季節ですね。東日本大震災から6年が経ちました。東北で被災された方々と比べることはできませんが、鴨居にいた自分でさえ、あの日の地震は今でも生々しく記憶がよみがえります。「備えあれば憂いなし」は備品はもちろんですが、心構えがあってこそ、機能するものだと思います。今回の講演会をきっかけに、皆様にも日頃から万一の時の行動を考えていただければと思います。